icare
tonometer

日本語

取扱説明

眼圧計

Icare® TA01i
取扱説明書 TA01i-001 JA-3.0
本書に記載の情報は予告なく変更される場合があります。
英語版と日本語版の内容に矛盾があった場合は、英語版が優先します。

CE

0044

この機器は以下に適合しています。
医療機器指令 93/42/EEC
カナダ医療機器規則

Copyright © 2015 Icare Finland Oy
フィンランド製

Icare Finland Oy/Tiolat Oy
Äyritie 22, FI-01510 Vantaa, Finland
TEL: +358 9 8775 1150. FAX: +358 9 728 6670
www.icarefinland.com, info@icarefinland.com

目次

使用の適応 3
概要 3
安全上の注意 3
眼圧計の部品 4
眼圧計をオンにし、プローブ装填する。 4
　以下の手順で、プローブ装填する。 4
測定 4
測定後の表示 5
その他の機能 5
　古い測定値にアクセス 5
　眼圧計をオフにする 5
　エラー メッセージ 5
眼圧計機能の図表 6
技術情報 6
性能データ 7
付属品 7
維持 7
　プローブを交換する 8
　プローブ ベースを掃除する 8
　眼圧計の掃除 8
　電池の交換 8
　保守/修理のために Icare 眼圧計を返却 9
　定期的安全検査 9
特許および著作権 9
記号 9
電磁気宣言 9

使用の適応

Icare 眼圧計 TA01i は、人の眼の眼圧（IOP）測定専用です。

概要

Icare 眼圧計は、眼圧に関する診断、経過観察、および検査に使用します。特許取得済みの新しい誘導型反発法をベースとしており、麻酔を使用せず、眼圧（IOP）を正確かつ迅速に測定できます。

単回使用のプローブで測定するため、微生物汚染の危険性を最小限に抑えられます。眼圧計またはプローブのどの部分にも天然ゴムラテックスは使用されていません。眼圧は、脈拍、呼吸、眼の動き、および体位の影響で変化します。手持ち式の装置を使用して瞬時に測定されるため、正確な測定値を得るには数回測定する必要があります。そのため、本装置ではあらかじめ測定回数が 6 回に設定されています。

安全上の注意

⚠ 警告
測定時に瞬間的に眼に接触するプローブを除き、眼圧計が患者の眼に接触してはいけません。眼圧計を眼に接触させたり、眼に押し当てたりしないようにしてください（プローブの先端は眼から 4～8mm または 1/6 ～1/3 インチ離す必要があります）。

⚠ 警告
測定器の開封は必ず資格のある保守担当者が行ってください。電池、プローブベースを除き、予備部品は含まれていません。Icare眼圧計は、12ヶ月ごとの電池交換、またはプローブベースの交換もしくは洗浄以外に定期的な保守点検や較正を行う必要はありません。保守点検が必要な場合は、資格のある保守担当者または現地の Icare 担当者にお問い合わせください。

⚠ 警告
Icare 眼圧計、その付属品、コネクタ、スイッチ、またはシャーシの開口部に液体をスプレーしたり、注いだり、こぼしたりしないでください。眼圧計の表面が濡れている場合はすぐに乾かしてください。

⚠ 警告
内部部品の交換部品として製造元が販売しているケーブルを除き、製造元の説明書に指定されたもの以外の付属品やケーブルを使用すると、Icare TA01i眼圧計の電磁放出が増加したり、電磁耐性が低下することがあります。

⚠ 警告
指定されたもの以外の付属品やケーブルを使用すると、Icare TA01i眼圧計の電磁放出が増加したり、電磁耐性が低下することがあります。

⚠ 注意
本取扱説明書には本眼圧計の使用および保守に関する重要な情報が記載されているため、本書をよくお読みください。

本説明書は、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。
開梱後、外見上の破損または欠損、特に本体に損傷がないかご確認ください。本眼圧計に関して不審な点がございましたら、製造元または販売店にお問い合わせください。
眼圧計は眼圧の測定にのみ使用してください。それ以外の使用は不適切です。不適切な使用による損傷やそれに伴う結果について、製造元は一切の責任を負わないものとします。
電池収納部以外、またはプローブ ベースを交換するとき以外は、眼圧計本体を絶対に開けないでください。
この取扱説明書には、電池の交換およびプローブベースの変更を行う方法が記載されています。
水に濡れる場所や湿度の高い環境では眼圧計を絶対に使用しないでください。
プローブ ベース、電池収納部カバー、ネジ、カラー（プローブベース収納部のカバー）、およびプローブはとても小さいため、お子様が飲み込む恐れがあります。眼圧計は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
可燃性の麻酔薬など、引火性のある薬物の近くで本装置を使用しないでください。
各測定の前に、未開封のパッケージから取り出した未使用の使い捨てプローブを使用していることを確認してください。
プローブの前面にプラスチック製の小さな丸い先端が付いていることを確認してください。
額あてから細菌など何らかの微生物に感染する可能性があります。
これを避けるため、必ずアルコール溶液などの消毒薬を使用 して定期的に額あてを洗浄してください。
強力な電磁放射のある携帯電話などの機器の近く（1 m 未満）で使用した場合、干渉が発生する場合があります。眼圧計自体の電磁放射は、該当する基準で許容されるレベルを十分下回っていますが、高感度センサーなど周囲にあるその他の機器で干渉が発生する場合があります。
本装置を長期間使用しない場合は、AA電池が漏れる場合がありますので、電池を取り外しておくことをお勧めします。電池を取り外しておいても、次に使用する際の眼圧計の機能には影響ありません。
一度使用したプローブは、患者由来の微生物が付着している可能性がありますので、使い捨て注射針用の廃棄物容器に捨てるなど、必ず適切に廃棄してください。
電池、パッケージ材料、およびプローブ ベースは、各地域の規則に従って廃棄してください。

⚠ 注意

米国連邦法では、本装置は医師による直接販売または医師の指示に基づく販売のみに制限されています。

眼圧計の部品

1. 額あて
2. 額あて調節ダイヤル
3. ディスプレイ
4. カラー（プローブ ベース収納部のカバー）
5. 選択ボタン
6. 測定ボタン
7. プローブベース
8. セントラルグルーブ

眼圧計をオンにし、プローブ装填する。

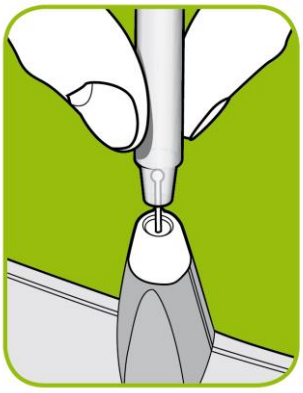
リストストラップ装着部にリストストラップを取り付けます。リストストラップを手首に巻いて固定します。リストストラップを装着することで眼圧計が誤って床に落下するのを防止します。電池を眼圧計に挿入します（9 ページ）。

計測ボタンを押し、眼圧計をオンにします。眼圧計のディスプレイに LCD セグメントがすべて表示されます（右図を参照）。セグメントがすべて 4 桁で機能し、セブンセグメントの LCD ディスプレイになっているか確認してください。

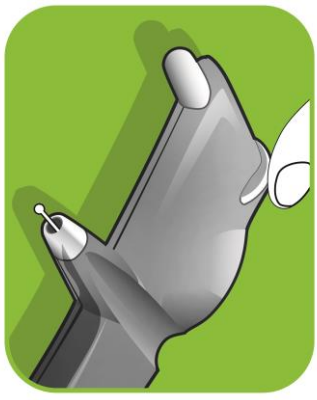
しばらくしてから、ディスプレイに「装填（Load）」が表示され、ユーザに測定前に単回使用プローブを眼圧計に装填するよう知らせます。

以下の手順で、プローブ装填する。

キャップを取り外してプローブチューブを開け、ディスプレイに示されているように、プローブをプローブベースに挿入します。プローブを挿入した後、プローブの落下を防ぐために、眼圧計を起動させる前にプローブを下向けにしないように注意してください。測定ボタンを一度押してアクティブにすると、眼圧計はディスプレイに00を表示し、測定できる状態になります。アクティブになった後は、プローブが磁化されるため落ちることはありません。

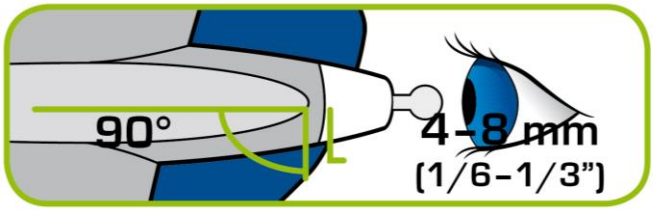


患者さんの額にしっかり当てて適正な距離で正確な測定を行えるように、額あて調整ダイヤルを操作して額あてを調整できます。



測定

局所麻酔を使用すると眼圧計の測定力が低下する可能性があるため、測定を行う際には麻酔薬を使用しないことをお勧めします。



患者さんに、リラックスして、まっすぐ前方の特定のポイントを見てもらいます。眼圧計を患者さんの眼に近づけます。中心溝が水平になるようにし、目からカラー前部までの距離はカラーの長さにしてください。具体的には、プローブの先端から患者さんの角膜表面までの距離（図を参照）を 4～8 mm（1/6～1/3 インチ）にします。

必要に応じて、額あて調整ダイヤルを操作して距離を調節してください。眼圧計を揺らさないよう気を付けながら、測定ボタンを軽く押して測定を行います。プローブの先端が角膜中央に触れる必要があります。6 回連続して測定を行います。 無事測定されると、短いビープ音が鳴ります。6 回の測定が終ったら、ディスプレイに IOP が「P」の後に表示されます。

測定に誤りがあると、眼圧計は2回ビープ音が鳴り、エラーメッセージが表示されます。測定ボタンを押してエラーメッセージを消去します。測定の誤りが何度か表示される場合は、エラーメッセージを確認してください（10 ページ）。

最も正確な測定値を得るには6回の測定が必要とされますが、最初の測定の後にも結果は表示され、通常これを有効とみなすことができます。表示される測定値は、全ての測定の平均値です（1.-5.）。各回の測定値は表示されません。各測定値に幅があった場合、6 回目の測定の後にディスプレイ上で「P」が点滅します。

測定をすべて行った後で、測定ボタンを押すと、測定を1回目から始められます。眼圧計は、次の測定を行える状態になります（00 がディスプレイに表示されます、8 ページをご覧ください）。

ユーザが測定の有効性に疑いがあると思う場合（例えば、プローブが瞼と接触している、あるいは角膜の中央からずれている場合など）、最初から測定を行うことをお勧めします。22 mmHg 超または 8 mmHg 未満など、通常の数値幅とは異なる場合、測定結果の妥当性を確保するために、最初から測定することをお勧めします。

*Badouin C, Gastaud P. Influence of topical anesthesia on tonometeric values of intraocular pressure.（全身麻酔による眼圧の眼圧計測定値への影響）Ophthalmologica 1994;208:309-313

測定後の表示

測定前	2 回目測定後	6 回目測定後
00	**2.13**	**P 13**

6 回目の測定の後に「P」がディスプレイに表示されてから、IOP (眼圧) の測定値が表示されます。

P が点滅している場合は、測定値の標準偏差が通常よりも大きいことを表しています。

P_（ライン下）異なる測定の標準偏差は通常よりわずかに大きいですが、結果への影響がある可能性は低いです。

P-（ライン中央）異なる測定の標準偏差は通常より明らかに大きいですが、結果への影響はおそらくないと思われます。IOP が 19 mmHg を超えている場合、再度測定することをお勧めします。

P⁻（ライン上）異なる測定の標準偏差が大きいので、再度測定をお勧めします。

その他の機能

古い測定値にアクセス

開始画面から、「Old（古い）」の文字がディスプレイに表示されるまで、選択ボタンの右か左を押します。それから、測定ボタンを押します。選択ボタン（右=より古い、左=より新しい、0～9）を押せば、古い値を「スクロール」することができます。

古い数値検索を終了するには、測定ボタンを押します。ディスプレイには「Old」の文字が表示されます。いずれかの選択ボタンを押して、他の機能にアクセスします（00 =測定、終了=オフ）。

眼圧計をオフにする

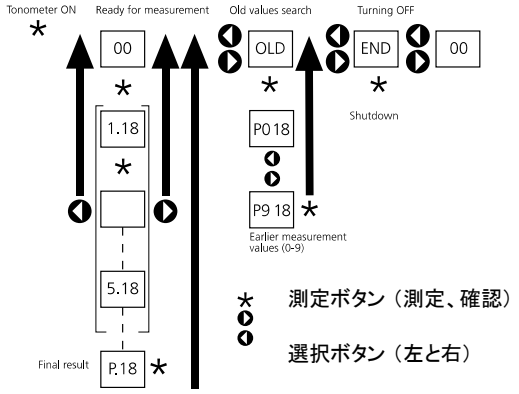
ディスプレイに「オフ（Turn off）」と表示されるまで、いずれかのナビゲーション ボタンを押します。測定ボタンを押します。ディスプレイに「byE」と表示され、眼圧計がオフになります。使用済みのプローブが部分的に押し出されます。使用済みのパッケージを使用して、眼圧計から取り出します。プローブは必ず適切に廃棄してください。

エラー メッセージ

エラーメッセージを消去するには測定ボタンを押します。その後測定を再開することができます。以下のメッセージが表示されます。

メッセージ	状態	説明
bAtt	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
E 01	プローブが全く動きません。	このエラーメッセージが繰り返し表示される場合は、眼圧計を動かしてカラーを少しの間下向きにします。このエラーメッセージが繰り返し表示される場合は、プローブベースを取り外して、新しいものと交換してください（ページ9を参照）。
E 02	プローブが眼に触れていません。	測定距離が離れすぎです。
E 03	プローブの速度が遅すぎます。	測定距離が離れすぎていたか、眼圧計が上に傾きすぎていました。
E 04	プローブの速度が速すぎます。	眼圧計がおそらく下に傾いていました。必ず中心溝が水平になるようにしてください。
E 05	眼との接触が「ソフト」すぎます。	プローブが瞼に接触している可能性があります。
E 06	眼との接触が「ハード」すぎます。	プローブが開いた瞼と接触しているか、硬化した角膜に接触しています。
E 07	眼圧計によって検知されたプローブ測定信号が異常になっています。	プローブが角膜の周辺部に接触している、またはプローブが曲がっているかあるいは適正に装填されていない可能性があります。このエラーメッセージが繰り返し表示される場合は、プローブを取り外し、交換してください。
E 09	不良データ	E01–E07 に記載された理由以外で測定にエラーが生じています。

眼圧計機能の図表

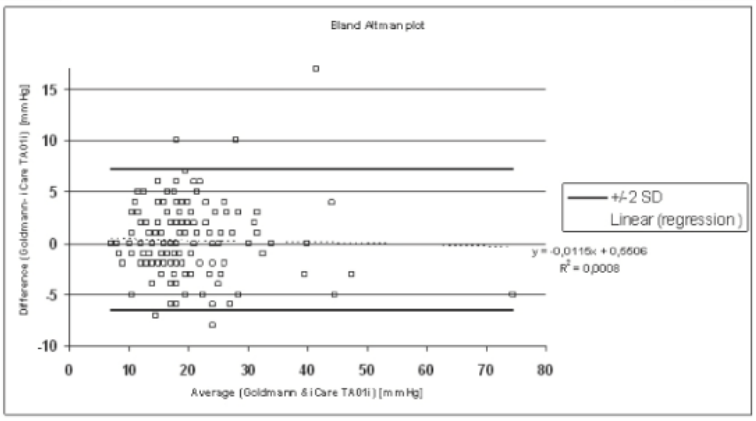


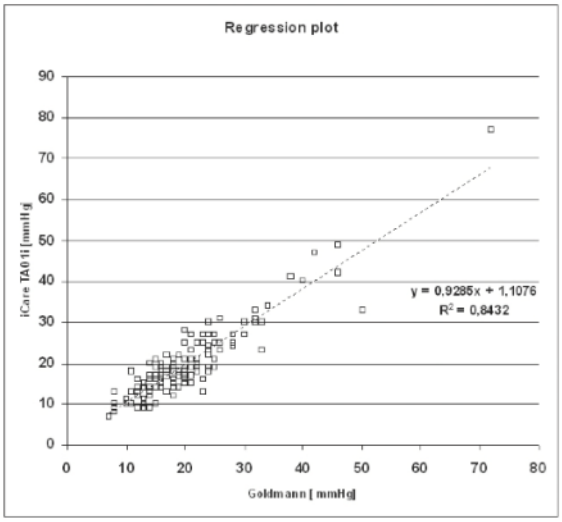
技術情報

Type:TA01i.
本装置はCE規制に適合しています。
寸法: 13〜32 mm (W) * 45 〜80 mm (H) * 230 mm (L)
重量: 155 g（電池のない場合）、250g（4 x AA電池）
電源: 4 x AA 充電不可電池（アルカリ電池など）
測定範囲: 7〜50 mmHg、表示範囲: 0〜99 mmHg（測定範囲を超える IOP 推定値）。
正確性（検圧法と比較して 95% の許容誤差）: ±1.2 mmHg (≤20 mmHg) と ±2.2 mmHg (>20 mmHg) 。
再現性（変動係数): <8 %。
表示精度: 1。
表示単位:水銀柱ミリメートル (mmHg) 。
シリアル番号は電池収納部カバーの裏に記載しています。
眼圧計から患者への電気的な接続はありません。
本装置には B タイプ感電防止機能があります。
動作環境:
　温度: +10 °C 〜 +35 °C
　相対湿度 : 30 % 〜 90 %
　気圧: 800hPa-1,060hPa
保存環境
　温度: -10 °C 〜 +55 °C
　相対湿度 : 10 % 〜 95 %
　気圧: 700hPa-1,060hPa
運輸環境
　温度: -40 °C 〜 +70 °C
　相対湿度: 10 % 〜 95 %
　気圧: 500hPa-1,060hPa
動作環境: 継続
www.icaretonometer.com

性能データ

性能データは、米国標準規格 ANSI Z80.10-2003 および眼圧計のための国際規格 ISO8612.2 に従って実施された臨床研究から得られます。この研究は、ヘルシンキ大学中央病院眼科で実施されました。研究では、158 名の患者に測定が行われました。ペアの平均差と標準偏差（Goldmann-Icare）は -0.4 mmHg と 3.4 mmHg でした。結果のスキャッタグラムとブランド･アルトマンプロットを以下に示します。





付属品

SKU	製品説明	重量	寸法
104	プローブ 1 箱（100 個入り）	89.10 g	5.3 x 10.3 x 3.6 cm
102	プローブ 1 箱（100 個入り）（米国のみ）	89.10 g	5.3 x 10.3 x 3.6 cm
7210	プローブベースカラー	1g	11 mm x 10 mm
540	プローブベース	4g	7 mm x 38 mm
550	テーブルスタンド	52g	73 mm x 52 mm x 38 mm
560	リストストラップ	3g	270 mm x 10 mm x 10 mm
500	アルミニウム製ケース	700g	240 mm x 280 mm x 72 mm
7171	電池カバーとスクリュー	4g	42 mm x 17 mm x 13 mm
7000	スレッドプレート	1g	4 mm x 10 mm x 3 mm
543	プローブベースクリーニング容器	3g	5.6 cm x 2 cm
561 562 563 564	シリコーングリップ – 白 シリコーングリップ – ピンク シリコーングリップ – 緑 シリコーングリップ – 青	26g	135 mm x 46 mm x 23 mm

維持

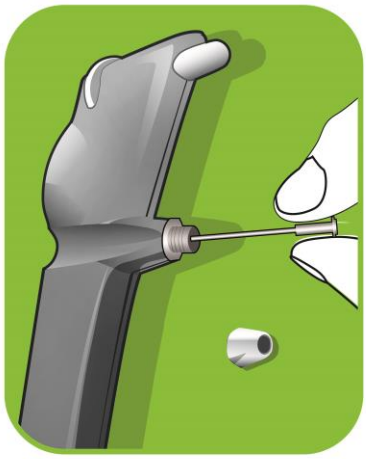
Icare 眼圧計と付属品の廃棄またはリサイクルについては、地域の規制およびリサイクルの指示に従ってください。

⚠ 警告

測定器の開封は必ず資格のある保守担当者が行ってください。電池、プローブベースを除き、予備部品は含まれていません。Icare眼圧計は、12ヶ月ごとの電池交換、またはプローブベースの交換もしくは洗浄以外に定期的な保守点検や較正を行う必要はありません。保守点検が必要な場合は、資格のある保守担当者または現地の Icare 担当者にお問い合わせください。

プローブを交換する

12ヶ月ごとにプローブベースを交換してください。エラーメッセージ E01 または E03 が表示された場合、プローブベースを洗浄または交換してください。



プローブベースの交換方法:
• 眼圧計の電源を切ってください。
• プローブ ベースのカラーのネジを外し、安全な場所に置いて下さい。
• 眼圧計を下向きにしてプローブベースを取り外し、指で眼圧計から引っ張り出します。
• 新しいプローブベースを眼圧計に装填します。
• カラーをねじ込み、プローブベースを固定します。

プローブ ベースを掃除する

入念な掃除によりプローブは再利用可能です。6 ヶ月ごとにプローブベースを掃除します。エラーメッセージ E01 または E03 が表示された場合、プローブベースを洗浄または交換してください。

プローブ ベースを以下の手順に従って掃除してください。
•プローブベース洗浄容器または他の清浄な容器を 100% イソプロピルアルコールで満たしてください。
• 電源を切ってください。
• プローブベースのカラーのねじを外します。
•プローブベースを逆さにして容器に入れ、5～10 分間浸しておきます。
• アルコール液からプローブベースを取り出します。
• プローブベースの穴に清浄な圧縮空気を入れ、プローブベースを乾燥させます。これにより、残った埃を取り除くことができます。
• 新しいプローブベースを眼圧計に装填します。
• カラーをねじ込み、プローブベースを固定します。

眼圧計の掃除

⚠ 警告
Icare 眼圧計、その付属品、コネクタ、スイッチ、またはシャーシの開口部に液体をスプレーしたり、注いだり、こぼしたりしないでください。眼圧計の表面が濡れている場合はすぐに乾かしてください。

Icare TA01i の表面は、検査によって以下の液体に対して化学的に耐性があることが確認されています。
• 2-プロパノール
• マイルドな石鹸
• 95% Pursept ソリューション

以下の手順に従い掃除してください。
• 電源を切ってください
• 上記の液体の一つを選び、やわらかい布を濡らしてください
• 本体の表面を軽くやわらかい布で拭いてください
• 乾いたやわらかい布で表面を乾かしてください

電池の交換

ドライバーまたは小さなコインで電池収納部の止めねじを外します。

電池収納部のカバーを外します。古い電池を取り出します。

新しい乾電池（単 3 乾電池 4 本）を挿入します。充電式電池は、正しく機能しない場合がありますので、使用しないでください（充電式電池は内部抵抗が高すぎる場合があります）。電池収納部内部の図に従って、電池を、プラス極は眼圧計（後側）の表示側に下向き、マイナス極は測定側（手前側）に下向きに挿入します。

電池収納部カバーを取り付け、コインまたはドライバーを使って軽くねじ込んで固定します。ふたをねじで止める際に無理な力を加えないようにしてください。

電池収納部カバー

保守/修理のために Icare 眼圧計を返却

発送方法については、Icare フィンランドの技術サービス部門（www.icarefinland.com をご覧ください）か最寄りの Icare 担当者にお問い合わせください。Icare フィンランドから指示されない限り、眼圧計と一緒に付属品を送付する必要はありません。輸送時には装置を保護するために適した梱包材料と箱を使用してください。配達証明付きの配達方法を使用して装置を返却してください。

定期的安全検査

24 か月ごとに以下の検査を実施されることをお勧めします。
機器に機械的・機能的損傷がないか点検。
安全ラベルの視認性を点検。

ドイツ語のみ適用 Messtechnische Kontrolle nach MPG (Medizinproduktegesetz) alle 24 Monate.

特許および著作権

米国特許 6093147、特許出願中。Icare 眼圧計は、適用される著作権法によっても保護されています。

記号

	注意!!! 取扱説明書をご覧ください	LOT	ロット番号
SN	シリアル番号		製造日
	単回使用	STERILE R	放射線を用いて滅菌
	B型装置		湿気厳禁
	製造元		

電磁気宣言

警告
内部部品の交換部品として製造元が販売しているケーブルを除き、製造元の説明書に指定されたもの以外の付属品やケーブルを使用すると、Icare TA01i眼圧計の電磁放出が増加したり、電磁耐性が低下することがあります。

警告
www.icaretonometer.com

指定されたもの以外の付属品やケーブルを使用すると、Icare TA01i眼圧計の電磁放出が増加したり、電磁耐性が低下することがあります。

TA01i は、クラス B 機器であり、EMC に関して特別な予防措置を講じる必要があり、ユーザーマニュアルおよびメンテナンスマニュアルに記載された EMC 情報に従って設置し、使用を開始します。

ガイダンスとメーカーの宣言 - 電磁放出		
TA01i は下記の電磁環境での使用を目的としています。TA01i の利用者は、TA01i を以下の環境で使用するようにしてください。		
RF 放出 CISPR 11	グループ 1	Icare TA01i は電池で作動し、内部機能についてのみ RF エネルギーを使用します。従って、その 無線エネルギーの放出量は極めて微量であり、付近の電子機器に及ぼす干渉はほとんどありません。
RF 放出 CISPR 11	クラス B	Icare TA01i は家庭用設備や家庭用に使用される建物に供給する 公共低電圧電源ネットワークに直接接続される設備を含むすべての設備での使用に適しています。
高調波放射 IEC61000-3-2	適用外	
電圧変動ちらつき放射 IEC61000-3-3	適用外	

ガイダンスと製造者の宣言-電磁環境耐性			
Icare TA01i は、下記の電磁環境での使用を目的としています Icare TA01i の購入者または利用者は、TA01ii をこのような環境で使用するようにしてください。			
免責テスト	**IEC 60601 試験レベル**	**適応レベル**	**電磁環境ーガイダンス**
静電気 放電（ESD） IEC 61000-4-2	± 6 kV コンタクト ± 8 kV大気中	± 6 kV コンタクト ± 8 kV 大気中	床は木製、コンクリートまたはセラミックでなければなりません。床が合成材料で覆われている場合は、相対湿度を 30% 以上に保ってください。
電気的高速 トランジェント/バースト IEC61000-4-4	電源ライン用 ±2kV 入力/出力ライン用 ±1 kV	適用外	
サージ IEC61000-4-5	ライン間電圧 ±1 kV 対地電圧 ±2 kV	適用外	
電圧ディップ、短時間停電、電源ラインの電圧変動 IEC 61000-4-11	<8 %*UT* (>95 % 低下 UT) 0、5 周期 40 % *UT* (60 % 低下UT) 5 周期 70 % *UT* (30 % 低下 UT) 25 周期 <8 % *UT* (>95 % 低下 UT) 5 秒	適用外	
電源周波数 (50/60 Hz) 磁場 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数電磁場は一般的な商業用または病院用クラスのものであるべきです。

ガイダンスと製造者の宣言 - 電磁環境耐性

IcareTA01i は下記の電磁環境での使用を目的としています。Icare TA01i の購入者または利用者は、TA01i をこのような環境で使用するようにしてください。

免責テスト	IEC 60601 試験レベル	適応レベル	電磁環境－ガイダンス
			ポータブル・モバイル RF 通信機器は、ケーブルをはじめとした IcareTA01i のいかなる部分からも、トランスミッタの周波数に適用される公式から算出された推奨分離距離以上離して使用してください。 **推奨隔離距離** *d* = 1.2 √P *d* = 1.2 √P 80 MHz to 800 MHz d = 2.3 √P 800 MHz to 2 5 GHz P は、トランスミッタ製造元によるトランスミッタの最大出力電力定格 (W) で、dは推奨分離距離 (m) です。 電磁実地調査によって決定される固定 RF トランスミッタからの電界強度は、各周波数範囲のコンプライアンスレベル未満でなければなりません。 以下の表示がある機器の近くでは干渉が発生する可能性があります。
放射 RF IEC 61000-4-3放射	3 V/m 80MHz ～ 2,5 GHz	3V/m	
伝導 RF IEC 61000-4-6	3Vrms 150 kHz から 80 MHz	適用外	

注1: 80 MHz と 800 MHz では、より高い周波数範囲が適用されます。

注2:これらのガイドラインはすべての状況に当てはまるわけではありません。電磁場伝播は構造物、物体、人の吸収と反射の影響を受けます。

無線通信の基地局、(携帯/コ ードレス) 電話および陸上移動無線、アマチュア無 線、AM および FM ラジオ放送、および TV 放送などの固定送信器からの磁界強度 は、理論上、正確に予測することはできません。電磁環境を検証するには、電磁実地調査を考慮する必要があります。Icare TA01i が使用される場所で測定された電界強度が上記の高周波コンプライアンスレベルを超える場合、Icare TA01i が正常に作動するか観察して確認する必要があります。性能に異常が見つかった場合は、Icare TA01iの再設定または移動などの措置が必要となります。

周波数範囲 150 kHz～80 MHz を超える場合、電界強度は 3V/m 未満になります。

ポータブル・モバイル RF 通信機器と Icare TA01i との間の推奨分離距離

Icare TA01i は、RF 妨害が制御されている電磁環境での使用を目的としています。IcareTA01i の購入者または利用者は、通信装置の最大出力電力に従って以下に推奨されるとおり、ポータブル・モバイル RF 通信機器(トランスミッタ)と IcareTA01i との間の最小距離を維持することによって電磁妨害を防止することができます。

トランスミッタの最大出力電力 (W)	トランスミッタ周波数による隔離距離		
	150 kHz から 80 MHz d = 1,2 √P	**80 MHz から 800 MHz** d = 1,2 √P	**800 MHz から 2,5 GHz** d = 2,3 √P
0,01	0.12	0.12	0.23
0,1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.2
100	12	12	23

上記以外の最大出力電力定格のトランスミッタについては、推奨分離距離 d (単位:m)をトランスミッタの周波数に適用される公式を用いて推定することができます。この場合、P はトランスミッタの最大出力定格電力(単位:W トランスミッタの製造元が定めている)です。

注1:80 MHz と 800 MHz では、より高い周波数範囲が適用されます。

注2:これらのガイドラインはすべての状況に当てはまるわけではありません。電磁場伝播は構造物、物体、人の吸収と反射の影響を受けます。